

指静脈認証による迅速・確実なログインで 新住民情報システムの利便性とセキュリティを両立

愛知県 瀬戸市 ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/>

住民から信頼される自治体運営には、個人情報への漏えいを強固に守るセキュリティ対策が不可欠です。やきもの代名詞でもある「せともの」の生産地として知られる愛知県瀬戸市は、基幹システムのオープン化にともない、日立の「指静脈認証システム」と電子自治体ソリューション「e-ADWORLD2」を組み合わせた新住民情報システムを導入。不正アクセスやなりすましの防止と、複数の職員がスピーディにログインできる窓口での利便性を両立させ、業務効率を大幅に向上させることに成功しました。

Solution & Service case study



瀬戸市役所 行政経営部 情報課 課長 山田 真司氏
瀬戸市役所 行政経営部 情報課 課長補佐 大矢 敬裕氏
瀬戸市役所 行政経営部 情報システム係 係長 水野 守氏

認証の正確さ、速さ、偽造の難しさなど総合的に評価

住民サービスの向上に向けた自治体業務の全体最適化を図るため、瀬戸市は2006年11月、メインフレームで構築されていた基幹システムのオープン化プロジェクトをスタート。導入スピードの

速さと法改正に強いパッケージシステムの導入を前提に、各主管課の職員も参加した総合評価方式でシステム選定を行った結果、株式会社日立情報システムズ(以下、日立情報)が提供する電子自治体ソリューション「e-ADWORLD2」が新たな住民情報システムに選ばれました。その理由を行政経営部 情報課課長の山田 真司氏は、「総合窓口を意識した各業務間連携のしやすさと、優れた操作性を高く評価したからです」と語ります。

また、e-ADWORLD2を選定したもう1つの評価ポイントが「指静脈認証システムとの親和性の高さだった」と補足するのは行政経営部 情報課 課長補佐の大矢 敬裕氏。新システムのRFP(提案依頼書)ではあらかじめ、窓口共通端末や職員端末へのログインを指静脈認証で行うことが調達要件に含まれていました。

この点でも、指静脈認証をログイン用セキュリティの標準機能としてサポートしていたe-ADWORLD2が、連携ツールを別途開発しなければならない他社に対し、コストメリットや連携性の高さが評価されました。

瀬戸市はどのように指静脈認証に当初から強いこだわ



小型で使いやすく、スピーディな認証を実現する指静脈認証装置



USER PROFILE

愛知県 瀬戸市
所在地 愛知県瀬戸市追分町64-1
人口 133,583人(2010年5月1日現在)
世帯数 53,112世帯(2010年5月1日現在)
職員数 806名(2010年4月1日現在)
せと・まるっとミュージアム
イメージキャラクター「せとちゃん」



PARTNER PROFILE

株式会社 日立情報システムズ
本社 東京都品川区大崎1-2-1
設立 1959年6月15日
資本金 131億6200万円(2010年4月現在)
従業員数 7,328名(連結、2010年4月現在)
事業内容 システム運用、システム構築、機器・サブライセンスなど

Solution & Service case study

りを持っていたのでしょうか。その問いに、行政経営部 情報課情報システム係 係長の水野 守氏は「認証の正確さと速さ、生体内部の情報を利用するため偽造が難しいことなどを総合的に評価したからです」と説明します。

窓口共通端末での担当者切り替えがスピーディに

「メインフレームの時代から、本市では専用端末のログインに指紋認証を採用していました。しかし、指先が乾燥しやすい時期には認証に失敗するケースが多く、装置そのもののレスポンスも悪いため、しだいに業務に支障をきたすようになってきました。また、装置に直接指が触れることに抵抗感を覚える職員も少なくありませんでした。そこで、さまざまな生体認証システムを調査した結果、利便性と高セキュリティを両立できる指静脈認証が最適であると判断したのです」(水野氏)。

日立が開発した指静脈認証システムは、数ある生体認証の中でも認証精度の高さとスピード、装置に軽く指をかざすだけという操作性のよさ、さらには装置がコンパクトで置き場所をとらないなどの特長から、金融機関ATMや企業のPCログイン、重要施設への入退室管理などで多数の採用実績を誇っています。

瀬戸市では2010年1月のe-ADWORLD2本稼働に際し、庁内にある約260台のPCそれぞれに指静脈認証装置を導入。Active Directoryと連携したシングルサインオンの採用により、個人用の職員端末では業務ポータル起動時に装置に指をかざすだけで、ID/パスワードを入力しなくても確実に本人確認が行えるシンプルな操作性を実現しました。

また、操作する職員が頻繁に入れ替わる窓口共通端末では、毎回ログイン画面に戻らなくても、業務ポータル上の機能ボタンをクリックするたび、指静脈で本人確認が行えるe-ADWORLD2ならではのユーザーインターフェースを採用。認証精度やスピードが大幅にアップしただけでなく、窓口共通端末における担当者切り替え時のストレスも解消されたことで、「業務効率の向上に加え、お客さまを待たせてしまう心配もなくなりました」と水野氏は喜びます。

ログ管理機能で操作履歴を確実にトレース

新システムへの移行にともない、ログ管理機能も大幅に強化されました。指静脈認証と業務システムのログをひも付けることで、「いつ、だれが、どのような業務を行ったか」の操作履歴が詳細にトレースできるようになったのです。

「従来の指紋認証では、最初に端末を立ち上げた職員が特

定できるだけで、その後複数の職員が端末を操作しても個人単位での認証がとれないという課題がありました。その点、新システムでは単にユーザーが切り替わった時間だけでなく、作業内容まで把握できるため、住民からの問い合わせ対応がスムーズに行えるようになりました。また、職員のセキュリティ意識向上にも大いに役立っています」(山田氏)。

さらに、情報課の管理負担軽減に寄与しているのが、指静脈情報の運用管理の容易さです。「職員1人あたり3本の指静脈情報を登録しましたが、作業が非常にスムーズに行えるのに驚きました。e-ADWORLD2用のパスワードも指静脈認証で自動入力されるので、以前のようにパスワードを忘れた職員からの問い合わせなどに対応する手間もありません。人事異動の際にも管理用アプリケーションから設定を変えるだけで済むため、今後も運用負担を最小化できると考えています」(大矢氏)。

入退室管理や勤怠管理との連携も視野に

これら一連のシステム構築を支援した日立情報に対して水野氏は、「今回導入したe-ADWORLD2は、将来的に窓口業務のワンストップ化を実現する上でも非常に効果的な基盤になると考えています。そこに、住民情報のセキュリティを強固に守る指静脈認証システムをシームレスな形で組み込んでいただけたことに感謝しています」と笑顔を見せます。

今後は指静脈認証システムを、サーバ室の入退室管理システムや勤怠管理システムとも連携させ、よりセキュアで効率的なシステム活用を進めていきたいと語る情報課の皆さま。これからは日立グループは指静脈認証システムや自治体ソリューションの継続的な機能強化により、瀬戸市がめざす安全・安心な電子自治体の実現を強力にサポートしてまいります。

SPOT INFORMATION 岩屋堂公園

「岩屋堂」とは、名僧・行基の伝説が残る天然の大きな岩のほらのこと。奇岩、滝など迫力ある自然の景観が楽しめます。花見、バーベキュー(有料・要予約)、水遊び、紅葉など四季を通じて魅力がいっぱいで、夏休みには、川をせき止めた「天然プール」で「金魚すくい」や「宝探し」が行われます。



【瀬戸の観光イベント情報サイト】
<http://www.seto-marutto.info/>

お問い合わせ先

(株)日立製作所 公共システム営業統括本部 カスタマ・リレーションズセンター
E-mail : p-channel@ml.itg.hitachi.co.jp

情報提供サイト

指静脈認証システム <http://www.hitachi.co.jp/veinid/>